

## ポストモダンモルドバフェスタを 開催しました!

6月19日から7月17日までモルドバの文化・自然・人物等の写真や絵画の展示と2回のセミナーを実施しました。経済編では、在日モルドバ共和国大使館のタティアナ・メシュテル＝バラン参事官が、最新のモルドバの経済動向と将来性について説明。ロシアとヨーロッパの間に位置するという地理的な優位性と安価な労働力、政府による税制などの優遇策を紹介されました。モルドバへの企業進出に関する質疑応答や、セミナー後の名刺交換もあり、今後の経済面での交流の拡がりを感じることできるセミナーになりました。



セミナー(歴史・文化編)で説明する  
日本モルドバ友好協会会澤澤理事長



セミナー(経済編)で説明するタティアナ・  
メシュテル＝バラン参事官(向かって左)

## 世界のこどもの本展読み聞かせイベント 「外国語で読み聞かせWeek」

7月24日から8月7日の「世界の子どもの本展」にあわせ、「外国語で読み聞かせWeek」を開催しました。会期中の5日間、韓国、中国、アメリカの国際交流員による読み聞かせを行い、子どもから大人まで多くの方が参加しました。

初日の韓国語読み聞かせでは、読み手もドキドキでしたが、読むうちに少しずつ緊張もほぐれていきました。日本語で少し解説をしたり、聞き手のみなさんと一緒に絵本に出てくる韓国語を言ってみたり、質問したり、和気あいあいとした雰囲気の中で楽しみました。



## それぞれの「はしわたし」

ひょうご国際プラザ所蔵の書籍を紹介します。



### たべてみて! フリーダ・キャプランがひろげた食のせかい

(マラー・ロックリフ文、ジゼル・ポター絵、  
福本由紀子訳 / BL出版)  
今では普通に、お店に並んでいる  
あなたの好きな野菜や果物も、  
フリーダがみんなに「はしわたし」を  
してくれなかったら、食べていなかった  
かも!? ぜひ読んでみて!



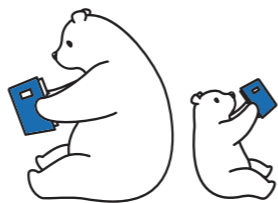
### 世界中で言葉のかけらを 日本語教師の旅と記憶

(山本冨里著 / 筑摩書房)  
世界をめぐり、言葉とめぐり合い、  
時には日本語を教えて、言葉の  
「はしわたし」、そんな旅日記です。



### きょうはふつらにくまんのひ

(メリッサ・イワイ作、横山和江訳 / 偕成社)  
だいすきにくまんを作ろうと  
したら、材料が足りない!材料を借り  
行くと、ほかの人も足りないものが..  
リリはみんなの「はしわたし」、ほかほ  
かにくまんを食べたくります。



### ひょうご国際プラザ

ひょうご国際プラザでは、  
毎月テーマを決めて  
特別コーナーを設置して  
います。お楽しみに!

開館時間等の  
詳細はこちら▶



# Come HIA

2024.9 vol.108 [カムヒア]  
HYOGO INTERNATIONAL ASSOCIATION

HIAは外国人も安心して暮らせる  
兵庫県を目指します!



# HIAは外国人も安心して暮らせる 兵庫県を目指します!

HIAは外国人県民の総合生活相談窓口として2019年4月から「ひょうご多文化共生総合相談センター」を運営しています。ひょうご多文化共生総合相談センターでは生活に関する情報提供や相談事業を行っており、年間の相談数は3551件ののびります(2023年度実績)。

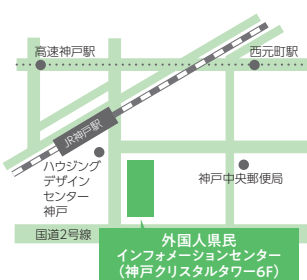


外国人県民インフォメーションセンター



NGO神戸外国人救援ネット

「ひょうご多文化共生総合相談センター」の相談窓口は、「外国人県民インフォメーションセンター」と「NGO神戸外国人救援ネット」の2か所があります。平日相談の「外国人県民インフォメーションセンター」では相談員による生活相談、弁護士による無料法律相談、そして出入国在留管理局の職員による入管相談を実施。休日相談の「NGO神戸外国人救援ネット」では年末年始を除く土・日曜日に生活相談を行っています。2024年現在、相談員対応に加え、外部通訳・翻訳アプリを活用して22言語で対応しています。また、平日相談では通信アプリ「LINE」の電話機能を使って相談ができます。



**外国人県民インフォメーションセンター**  
〒650-0044  
神戸市中央区東川崎町1-1-3  
神戸クリスタルタワー6F  
(兵庫県民総合相談センター内)  
TEL 078-382-2052  
FAX 078-382-2012



公式LINE ID:@hyogoic  
公式ブログ

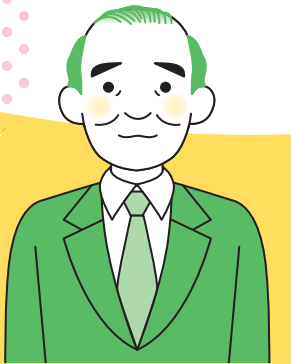


**NGO神戸外国人救援ネット**  
〒650-0004  
神戸市中央区中山手通1-28-7  
カトリック神戸中央教会内  
TEL 078-232-1290  
FAX 078-271-3270

外国人県民インフォメーションセンター (相談方法) 電話・来訪 ※法律相談・入管相談は要予約
生活相談 (月曜～金曜) 9:00～17:00
法律相談 (月曜) 13:00～15:00
入管相談 (毎月第3木曜) 13:30～16:30 ※土日、祝日、年末年始を除く

NGO神戸外国人救援ネット (相談方法) 電話・来訪
生活相談 (土曜、日曜) 9:00～17:00 ※休日:年末年始

兵庫県に住む外国人の方は、「ひょうご多文化共生総合相談センター」で、生活の中で困ったこと、知りたいことを何でも相談できます。お金はいりません。秘密は守ります。まずは、気軽に相談してください。



センター長

ひょうご多文化共生総合相談センターには、在住外国人から様々な相談が寄せられます。日本人の相談事と同じようなことも多いですが、外国人特有のこととして大きく次の2つに起因する相談事があるのが特徴です。

## 相談事例 01



英語相談員

### 日本語や制度がわからない!!

日本で生活していると、ほとんどの情報が日本語のみで表示されています。また、日本語で意思を伝えなければならない場面が多く、日本語があまり話せず、読み書きができない外国人にとってはとても厳しい状況です。例えば、ゴミステーションのゴミの出し方の表示、子どもが学校から持ち帰ってくる連絡プリント、病院の予約や先生の診断、クレジットカードやアパートを借りる手続き、仕事の契約書など、あらゆる場面で日本語が必要になります。また、母国とは異なる制度やルールもたくさんあります。それらが読めない、自分の言いたいことがうまく相手に伝えられないといったことが、一番の困りごとになります。

## 相談事例 02

### 在留資格によってできないことがある!!

日本に入国・滞在する外国人は、入管法に定める在留資格のいずれかを有することが必要です。在留資格には大きく29種類あり、在留資格によって、日本で働くことができるかできないか、どんな仕事ができるかなどが細かく定められています。例えば、「留学」は大学や専門学校などで勉強するための資格であり、就労するには資格外活動許可を受けて週28時間までしか働くことができません。「日本人の配偶者等」では、結婚している日本人と離婚したら在留資格が無くなり、日本に滞在できなくなります。また、在留資格には期限があり、6か月、1年、3年、5年などの期限が来たら入管局を訪れ、いろんな資料を添えて更新手続きをしなければなりません。このような在留資格上の制限が、日本に滞在している間はついて回ります。



中国語相談員

こういった悩める外国人の日本での生活を少しでも支援するために、ひょうご多文化共生総合相談センターの相談員は、彼らの母語と日本語の通訳を手伝ったり、困りごとを解決するための窓口へつないだり、対応方法をアドバイスしたりしています。



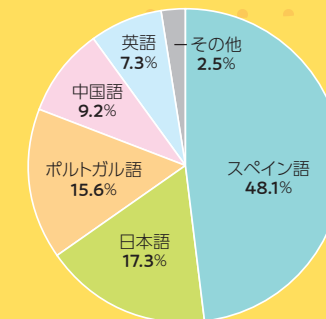
スペイン語  
相談員



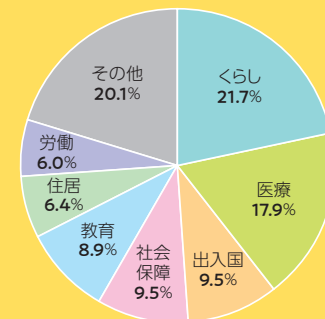
ポルトガル語  
相談員

- 【対応言語】
- ・日本語・英語・中国語
  - ・スペイン語・ポルトガル語
  - ・ベトナム語・韓国語
  - ・タガログ語・インドネシア語
  - ・タイ語・ネパール語
  - ・ミャンマー語・クメール語
  - ・マレー語・モンゴル語
  - ・シンハラ語・ヒンディー語
  - ・フランス語・ドイツ語・イタリア語
  - ・ロシア語・ウクライナ語

相談言語構成比  
(2023年度実績)



相談内容構成比  
(2023年度実績)



外国人県民インフォメーションセンターでは、1994年の開設時から英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語の相談員を置いており、対応できる窓口が少なかったスペイン語の相談が多いことが特徴です。

「くらし」はゴミの出し方など生活全般に関する相談、「医療」では健康保険や通院予約等の相談が多くあります。また、コロナ禍にはワクチン接種、特例貸付の相談が多くありました。

## ひょうご国際交流団体連絡協議会総会が開催されました。

5月21日、2024年度ひょうご国際交流団体連絡協議会総会が開催されました(於 国際健康開発センター)。ひょうご国際交流団体連絡協議会は、兵庫県内の全市町で活動する国際交流団体のネットワークです。総会では、本県の草の根国際交流活動に尽力された個人・団体に贈られる「草の根国際功労賞」受賞者の表彰式も行われました。今年度は県内の4個人、2団体が受賞されました。

### 中田 有紀様・藤井 正子様

10年以上の長きにわたり、(公財)加古川市国際交流協会の日本語講座で指導を続け、外国人への日本語学習支援にご尽力いただきました。

### 中尾 プラパッソン様

三木市国際交流協会の出前講座講師として、学校での母国(タイ)の紹介や通訳として活動されるほか、地域活動にも積極的に参加され、ニューカマーの同胞を支援してこられました。



草の根国際功労賞受賞者の皆さん

### 亀井 日出子様

(公財)姫路市文化国際交流財団にてボランティア講師や日本語学習者とボランティアのコーディネート役として活躍されるとともに海外姉妹都市から中学生が姫路を訪れた際には、日本文化の紹介をするなど青少年の国際交流にも貢献されています。

### 東灘日本語教室様

日本語学習支援や多彩なイベントを通じて日本文化の理解の促進に努められ、25年以上にわたり地域の外国人住民に寄り添った支援を続け、地域コミュニティとの橋渡しとなる活動を続けてこられました。

### 兵庫県立ピッコロ劇団様

市町国際交流協会と連携して地域における外国人と日本人の交流を深めるためワークショップを実施し、「演劇の力」を活用した地域づくりの新たな可能性を提示する活動を展開されています。



## みんなで力を合わせて 「播磨町日本語教室」の立ち上げ

「私たちの町の日本語教室を作りたい!」長年、外国人支援を担ってきた播磨町国際交流協会事務局の強い思いが、たくさんの人を動かし、日本語教室が誕生しました。

2021年、相談を受けたHIAは、町と町国際交流協会と一緒に「どんな教室を目指すのか」、「予算をどうするか」「コーディネーターの役割を誰が担うか」といった課題を一つずつ考えていきました。そして、出来上がった教室のコンセプトが「支援者も学習者も同じ町の住民として参加する、地域に開かれた日本語教室」です。

2022年春には支援者研修(10回20時間)を実施し、21人の新たな仲間が加わりました。秋からスタートした教室では、日本語教師と支援者が協働し、楽しいクラス活動が行われています。

現在、教室は3年目。町、町国際交流協会、そして支援者の皆さんの目指す教室の姿にブレはありません。参加する全ての人々が楽しい「私たちの町の日本語教室」、これからもみんなで活動を続けていきます。



おしゃべりしながら、お気に入りのスポットを地図に書き込みます

他の人の書いた情報を興味深そうにのぞき込んでいます

支援者研修の1コマ「やさしい日本語」って難しい!

R6支援者研修先輩がリードしてくれました

参加者みんな笑顔の教室です

子ども連れでの参加もOK!お母さんの隣で興味津々

## 訪日教育旅行 SHOW CASE

## ようこそ、お久しぶりです

香港の高校生18人が夙川高等学校を訪問して、地理の授業と一緒に受講し意見交換をおこないました。

夙川高校生徒会のみなさんが企画・運営したレクリエーションで大いに楽しみました。



中国の中学生33人が西宮市立浜脇中学校を訪問しました。

3グループに分かれて、体育・書写(毛筆)・社会の授業に参加、その後音楽の授業で両校が歌唱を披露しました。



学校交流を体験することが、児童・生徒のみなさんの国際社会に生きるための態度や能力の基礎を育みます。今後も機会が増えるように支援していきます。

現在、学校交流の方法は大きく二つあります。オンラインツールを活用した交流(Web交流)と実際に対面しての交流(対面交流)です。Web交流はコロナ禍の中で始まったものですが、引き続き堅調に推移しており、Web交流から対面交流につながるケースも増えています。

対面交流に関しては、一昨年度久しぶりに台湾の高校生を迎えて以来、さまざまな国や地域の学校が兵庫県を訪れています。昨年度は、台湾、マレーシア、韓国、インド、オーストラリア、カナダと合計27件の交流が実施されました。そして、今年度もその勢いはコロナ禍前を凌ぐものとなっています。

今回ご紹介するのは、7月に実施された香港と中国の対面交流です。どちらも5年ぶりの対面交流になります。

### 交流内容別実施件数の推移

年度	2018	2019	2020	2021	2022	2023
Web交流	0	0	12	52	103	148
対面交流	35	17	0	0	1	27

(協会が扱った事例のみ)

## 地域日本語教室伴走支援事業がスタート

地域日本語教室は、外国人住民が安全に安心して暮らすために必要な日本語を学ぶ場であると同時に、外国人と日本人がともに学び合う場であり、多文化共生のまちづくりの拠点となっています。

「日本語教育の推進に関する法律」(令和元年施行)で外国人に対する日本語教育が地方自治体の責務の一つとされてから、地域日本語教室の活動を更に拡充しようとする市町が増えつつあります。HIAでは、その市町の取組をサポートするため、新しく「地域日本語教室伴走支援事業」をスタートしました。この事業では、市町の主体的な取り組みに重きを置きながら、地域の実情や日本語教室のフェーズに合わせた事業展開を長期的な視点でサポートすることによって、地域の課題を地域で解決できる体制の構築を目指しています。

上記の播磨町の新しい日本語教室をはじめ、各地の教室の安定的・継続的な運営に向けて、HIAも伴走支援を続けていきます。

# 草の根 国際交流・協力

News

News 1

## 香港大学工学部教育旅行団の 兵庫県視察をサポートしました！

5月26日～31日に、香港大学工学部同窓会主催の教育旅行団が「住みやすく持続可能な未来」をテーマに兵庫県を訪問しました。香港大学工学部は、中国をはじめ世界で活躍する理系人材を多く輩出しており、その同窓会は現役学生と共に世界各国で技術視察を目的とした教育旅行を実施しています。今回、「カーボンニュートラルな未来の実現」に向け産官学で取り組む兵庫県に興味を持ち、兵庫県香港経済交流事務所を通してHIAが受入れに協力しました。

HIA表敬の後、JICA関西で「インフラ分野のグローバルアジェンダ」、神戸市垂水下水処理場で「こうべWエコ発電プロジェクト」、ポートアイランドで神戸市や川崎重工業(株)が取り組む「水素スマートシティ神戸構想」等の説明を受け施設見学を行いました。また、神戸大学では水素・未来エネルギー技術研究センターを訪問し大学交流を行うほか、三菱重工業(株)の「高砂水素パーク」や明石海峡大橋の視察など中身の濃い訪問となりました。

専門的な質問も多く飛びかい、充実した視察・交流が行われました。



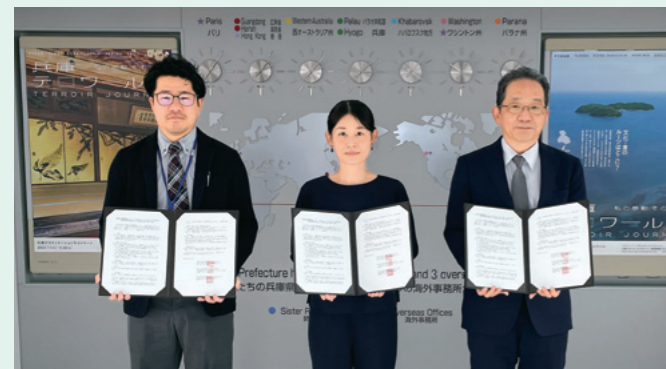
HIA訪問の様子



垂水下水処理場見学

News 2

## 3機関(JICA関西、大学コンソーシアムひょうご神戸、HIA) 連携協定を締結！



左からJICA関西、大学コンソーシアムひょうご神戸、HIA

3月29日、独立行政法人国際協力機構関西センター、一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸と当協会の3機関は、将来に向けた地域課題の解決や多文化共生社会づくり、兵庫県と世界の交流の拡大に寄与することを目的に、連携と協力に関する協定を締結しました。

連携・協力分野としては、(1)県内の大学生等を中心とする若者の国際貢献、グローバル社会への挑戦の促進、(2)県内の外国人留学生の地域社会とのつながり・関わり合いの深化と卒業後の県内の長期的な活躍、県内定着の促進、(3)県民の国際理解と県内の多文化共生社会づくりの促進等です。早速、今年度は9～10月にかけて、リレー式インターシップの受入れや、「自分流で世界と繋がる」をテーマとした国際交流入門セミナー等を3者協働で行います。

News 3

## JICA海外ボランティアひょうご 応援団がJICA海外協力隊の 兵庫県庁表敬で激励！



集合写真(お帰りなさい&行ってらっしゃい)

HIAはJICA海外協力隊への社会的理解の拡大等を目的として設立されたJICA海外ボランティアひょうご応援団(以下、「ひょうご応援団」)の事務局業務を2018年から担当しており、隊員の兵庫県庁への表敬訪問に毎回同席しています。

7月23日夏の光が降りそそぐ兵庫県公館において、兵庫県出身の開発途上国へ出発する隊員22名と2年間の任期を終えて帰国した隊員4名が塩見国際局長を表敬訪問しました。当日は、帰国隊員が2年間の活動を報告し、出発隊員が参加動機や派遣に向けての意気込みを一人ずつ生き生きとお話しされました。ひょうご応援団からは、理事が出席し、隊員の皆さんへご挨拶しました。

開発途上国から帰られた皆さん、これから開発途上国へ出発される皆さんには、JICA海外協力隊員として培われた経験やノウハウをもとに、職場や地域でご活躍されることを、心より願っております。



理事から激励のあいさつ



# 海外事務所だより

## 「ひょうごフィールドパピリオン」を海外でPR

2025年に関西一円で開催される大阪・関西万博を機に、兵庫県では県全体を展示館(パピリオン)に見立て、地域のSDGsを体現する活動の現場(フィールド)を地域の人々が主体となって発信し、多くの人に見て、学んで、体験してもらう「ひょうごフィールドパピリオン」を展開しています。海外事務所でも、世界各地で開催される旅行博などに出展し、「ひょうごフィールドパピリオン」のプロモーションを実施。兵庫県の魅力をより多くの海外の人に紹介し、万博の機会に来県してもらえるよう取り組んでいます。

## ニューヨーク・トラベル& アドベンチャー・ショー2024 (NYTAS)

ワシントン州事務所が日本政府観光局ブースに出展しました。来場者からは「日本への旅行を計画しているが、兵庫県も候補地に入りたい」などの声が聞かれました。



来場者でにぎわうブース

## パリ旅行博「IFTM Top Resa」

兵庫県万博推進課のジャパンブースへの出展にあたり、パリ事務所がPR資料の翻訳やプレゼン資料の作成、ブースでの対応を支援しました。3日間で26社の旅行会社などと商談を行いました。



ブースでの商談

## 第34回香港書展(香港ブックフェア)

香港における最大の本の展示即売会かつ最大の集客イベントである香港ブックフェアに出展しました。香港でも有名な神戸ビーフのもと牛(但馬牛)が育つ場所を訪れるプログラムなど、日本好きの香港人でもあまり行ったことのないおすすめの情報発信しました。



はばタンもPRのお手伝い

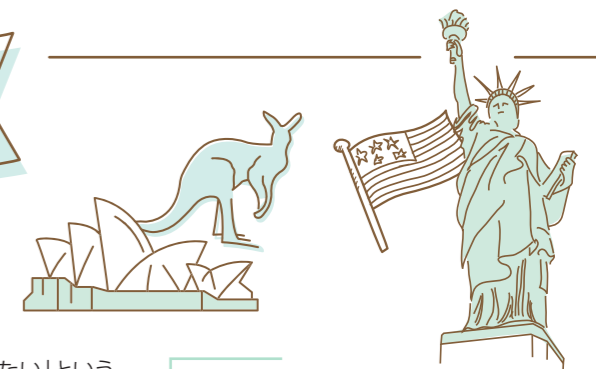


# みて! よんで! 国際交流員

## 国際交流員と「外国語ではなそう!」

HIAでは月に1度、「外国に興味がある」「そんなに話せないけど、交流してみたい」という方を対象に、国際交流員とのおしゃべりイベント「外国語ではなそう!」を開催しています。

5月の実施回はオーストラリア出身のトミーさんとアメリカ出身のイーサンさんが英語で担当。トミーさんはオーストラリアの動物紹介やオージーラングを使ったゲームを、イーサンさんはRunning Dictation(英語学習のためのアクティビティ)やSNSについてのグループディスカッションを行いました。はじめて参加される方も毎月参加される方も和気あいあいとした雰囲気の中で楽しんでいただけますので、ぜひご参加ください!



開催月詳細・お申し込みはこちらから  
([https://www.hyogo-ip.or.jp/cir\\_talk\\_r6.html](https://www.hyogo-ip.or.jp/cir_talk_r6.html))  
※語学教室ではないことをご了承ください。  
月によっては開催がない場合があります。



Running Dictation実施中。ホワイトボード裏に書かれた英文を暗記し、ペアの人に伝えます



オーストラリアのスラング紹介